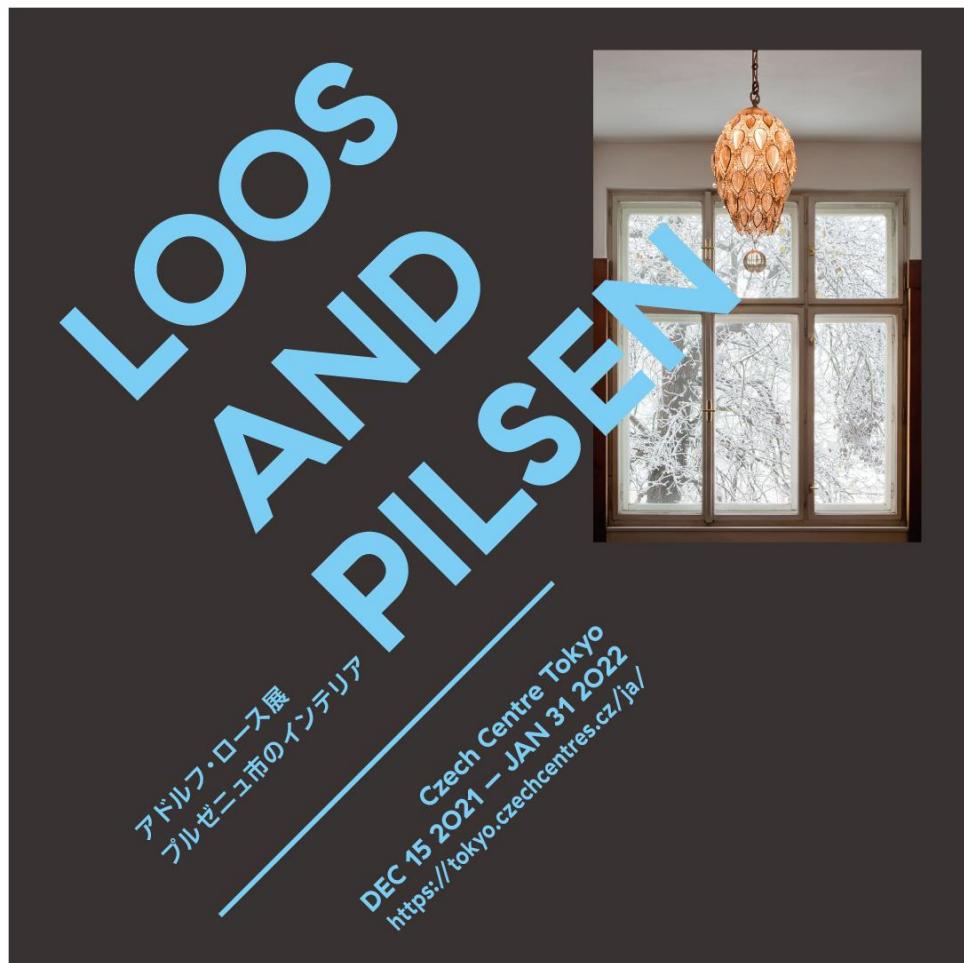


## 【展示のご案内】



### LOOS AND PILSEN アドルフ・ロース展 プルゼニュ市のインテリア

2021年12月15日（水）～2022年1月31日（月）/ チェコセンター東京（渋谷区広尾）

昨年生誕150周年を迎えたチェコ出身の世界的建築家、アドルフ・ロース。その思想と建築作品は、当時の建築だけでなく、その後の現代建築の在り方にも世界規模の影響を与えました。このたび、ロースが20世紀前半に長期にわたり取り組みつつも、チェコ国外ではあまり知られていないかったプルゼニュ市内の類を見ないインテリアデザインをご紹介する展覧会を、東京・広尾のチェコセンター東京にて開催いたします。

展示の主なねらいは、プルゼニュ市におけるロースの活動をより広い文脈で捉えることになります。1907年以降の初期の作品と、ヒルシュ家やベック家との重要な関係、そしてウィーンとのつながりを紹介します。また、1927年にプルゼニュに戻り、ブルメル家やゼムラ家、フォーグル家、クラウス家といった多くの資産家の邸宅を設計したことにも注目し、現代における邸宅の修復の様子や、ロースや家主の家族についても言及しています。会場では、東洋大学の協力のもと、建築模型や3D映像、VR映像なども併せて展示いたします。夕刻には会場外壁に口



ースが手掛けたインテリア画像の**投影**も行います。建築家アドルフ・ロースの世界をご体験ください。皆さまのご来場をお待ちしております。

詳細：[チェコセンター東京ウェブサイト](#)

<https://tokyo.czechcentres.cz/ja/program/loos-and-pilsen>

## 開催概要

### LOOS AND PILSEN アドルフ・ロース展 プルゼニ市のインテリア

- **会期：**2021年12月15日（水）～2022年1月31日（月）  
※土日・祝日、12月24日（金）および12月29日（水）～1月3日（月）は休館  
※1月22日（土）は特別開館
- **開館日時：**10:00～19:00
- **会場：**チェコセンター東京  
150-0012 東京都渋谷区広尾2丁目16-14（チコ共和国大使館内）
- **入場無料**
- **主催：**チコセンター
- **キュレーター：**ペトル・ドマニツキー（プルゼニ市西ボヘミア美術館）
- **パートナー：**プルゼニ市西ボヘミア美術館、プルゼニ市、Adolf Loos – Plzeň、プルゼニ州
- **グラフィック：**ヤン・ディンスビール (Busek&Dienstbier)
- **協力：**[東洋大学ライフケイン学部人間環境デザイン学科 櫻井義夫研究室](#)
- **日本語パネル翻訳：**櫻井義夫（東洋大学教授）

※本研究及び活動費用の一部は、一般財団法人乃村文化財団の助成金によるものです。

## 展示オープニング

- **日時：**2021年12月15日（水）19:00～
- **会場：**チコセンター東京

今回の展示にご協力いただきました東洋大学の櫻井義夫教授もお招きする予定です。

ご参加希望の方は、以下よりお申し込みください。

<https://forms.gle/oevGLJNw8kZfT1Ug9>

※お申し込み後、改めてチコセンターよりご連絡いたします。3日以内（土・日・祝日を除く）に連絡がない場合はチコセンターまでご連絡ください。

### 展示趣旨

ブルゼニュ市におけるロースの重要な作品群は、ブルゼニュの西ボヘミア美術館で行われた展示「LOOS – PILSEN – CONNECTIONS」により、チェコ国内では文脈的解釈が行われ、反響を呼んでいます。また、ブルゼニュ市の共同出資による再建の後、2015年に受賞した欧州文化都市プログラムを通して、ロースがインテリアを手がけた邸宅のいくつかは整備され、アクセスしやすくなりました。チェコセンターの企画は、上記2つのプロジェクトを元に、西ボヘミア美術館とブルゼニュ市の協力のもと実現したものです。

20世紀初頭、ブルゼニュはオーストリア・ハンガリー帝国の中でも活発な工業都市でした。つまり、多額の金融資本が集まっていたことを意味します。資本家たちは近代的な生活を望んでおり、質の高い邸宅を持つこともそのひとつでした。チェコ国内で成功していた企業の多くはユダヤ系で、チェコ国外に親族やビジネス上のつながりを持った教養のある階級でした。ロースが初めてブルゼニュの顧客と出会ったのはウィーンでした。こうした顧客たちは、革新的で異端な建築家ロースに対し前向きに協力し、同時に豊富な資金力を持っていたため、有名なアパートメントやインテリアがいくつも生まれました（後に修復・再建されています）。こうした建築物は、建築家・ロースのライフスタイルにおけるモダニズムの思想を示す申し分のない例であり、折衷的で古典的なスタイルの邸宅に垣間見ることができます。同時に、所有者の個性、生活様式、運命によって、ブルゼニュ、そして中欧諸国社会文化史についての不穏な声明となっているのです。ホロコースト、亡命、共産主義の全体主義体制、そして1989年のビロード革命後の自由な時代に関しても触れています。

本展は、ブルゼニュの西ボヘミア美術館が2010年より行っている調査研究の成果を紹介するものです。主なねらいは、ブルゼニュ市におけるロースの活動を、より広い文脈で捉えることにあります。1907年以降の初期の作品と、ヒルシュ家とベック家の重要性、そしてウィーンとのつながりを紹介します。また、1927年にブルゼニュに戻り、ブルメル家やゼムラー家、フォーグル家、クラウス家といった多くの投資家の邸宅を設計したことにも注目しています。現代における邸宅の修復の様子や、現在はチェコ国外に住んでいる、ロースや家主の家族についても言及しています。

### 展示内容

- パネル展示「LOOS AND PILSEN アドルフ・ロース展 ブルゼニュ市のインテリア」



ブルゼニュ市・ブルメル邸内部 撮影 yoshio sakurai

- **動画展示**

- ロースハウス 1910 Vienna
- シュタイナー邸 1911 Vienna
- ショイ邸 1912 Vienna
- バウアー邸 1914 Hrušovany u Brna
- ルーファー邸 1922 Vienna
- トリスタン・ツアラ邸 1928 Paris
- モラー邸 1928 Vienna
- ブルメル邸 1929 Plzeň
- ミュラー邸 1930 Praha
- オスカル・ゼムラー邸 1932 Plzeň



シュトロス邸模型 撮影 yoshio sakurai

- **模型展示**

- サピエハ公の山荘 1918 場所不明
- 公営住宅計画 1921 Vienna
- シュトロス邸 1922 場所不明
- 屋上庭園をもつ 20 件の共同住宅 1923 Côte d'Azur, France
- プレッシュ邸 1924 Croissy-sur-Seine, France
- 立方体の家 1929 場所不明
- ボイコ邸 1930 Vienna
- フライシュナー邸 1931 Haifa, Israel

- **VR体験**

- ロース・インテリアの没入型データーの閲覧

- **屋外壁面展示（夕刻のみ）**

- ロース・インテリア画像プロジェクション

### 《ご来館にあたってのお願い》

感染症拡大防止のため、下記の取り組みについてご理解ご協力をいただきますようお願いいたします。なお、今後の状況によっては、臨時休館や展覧会・イベントの中止等の可能性もございますので、最新の情報はチェコセンターのウェブサイト・SNSにてご確認ください。

- マスクの着用をお願いします。スタッフもマスクを着用しご対応いたしますので、ご理解ください。
- 入口での手指の消毒にご協力ください。
- 発熱、咳等の風邪症状のある方はご入場を遠慮願います。（激しく咳き込まれる等の症状のある方には、スタッフがお声かけし、ご退館をお願いする場合がございます）
- 観覧の際は、互いに適切な距離（2m程度）を保つようお願いいたします。

### Česká centra

Václavské nám. 816/49, 110 00 Praha 1  
T: +420 234 668 211, F: +420 234 668 215  
E: info@czech.cz, http://www.czechcentres.cz

- 飛沫拡散防止のため、展示室内等での会話はできるだけお控えください。

### 本企画についてのお問合せ

チェコセンター東京

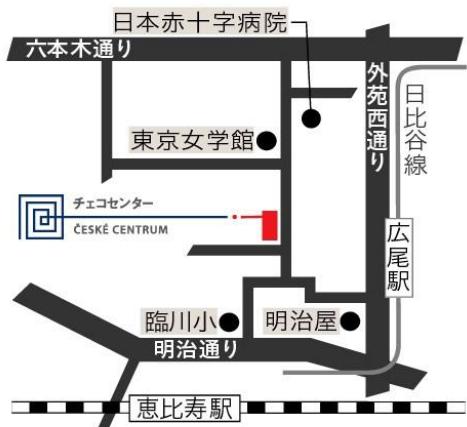
150-0012 渋谷区広尾 2-16-14 チェコ共和国大使館内

TEL 03-3400-8129

[cctokyo@czech.cz](mailto:cctokyo@czech.cz)

<http://tokyo.czechcentres.cz/jp/>

- チェコセンターは3大陸26都市においてチェコ文化の普及につとめている、チェコ外務省の外郭団体です。



### Česká centra

Václavské nám. 816/49, 110 00 Praha 1

T: +420 234 668 211, F: +420 234 668 215

E: [info@czech.cz](mailto:info@czech.cz), <http://www.czechcentres.cz>